

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年05月14日

計画の名称	安全で快適な自転車利用のための自転車通行空間整備（防災・安全）														
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当	○			
交付対象	岡山市														
計画の目標	自転車は「車両」であるという大原則を踏まえ、自転車が通行すべき空間を整備し、自転車関連事故件数の削減を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		865	A	865	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R6末	R8末
1	自転車通行空間ネットワーク計画内における、自転車関連事故件数（令和2年度314件）を260件に減少。 自転車通行空間ネットワーク計画内において、令和8年度に発生した自転車関連事故件数を調査する。 （令和2年度の自転車関連事故件数）－（令和8年度末までの整備済延長）（1km整備に対して1件の事故件数減少）	314件	287件	260件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村 道	交安	（１）いずみ町青江線ほか	自転車通行空間整備　L=17.0 km	岡山市	■	■	■	■	■	136		-	
	A01-002	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村 道	交安	（１）学南町１号線ほか	自転車通行空間整備　L=72.3 km	岡山市	■	■	■	■	■	579		-	
	A01-003	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村 道	交安	（２）西川原国富線ほか	自転車通行空間整備　L=18.8 km	岡山市	■	■	■	■	■	150		-	
												小計						865		
											合計						865			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	8	6	13		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	8	6	13		
前年度からの繰越額 (d)	0	7	5		
支払済額 (e)	1	9	10		
翌年度繰越額 (f)	7	4	8		
うち未契約繰越額(g)	7	2	8		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	87.5	15.38	44.44		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関等との協議に不測の日数を要しているため	関係機関等との協議に不測の日数を要しているため	関係機関等との協議に不測の日数を要しているため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全で快適な自転車利用のための自転車通行空間整備（防災・安全）

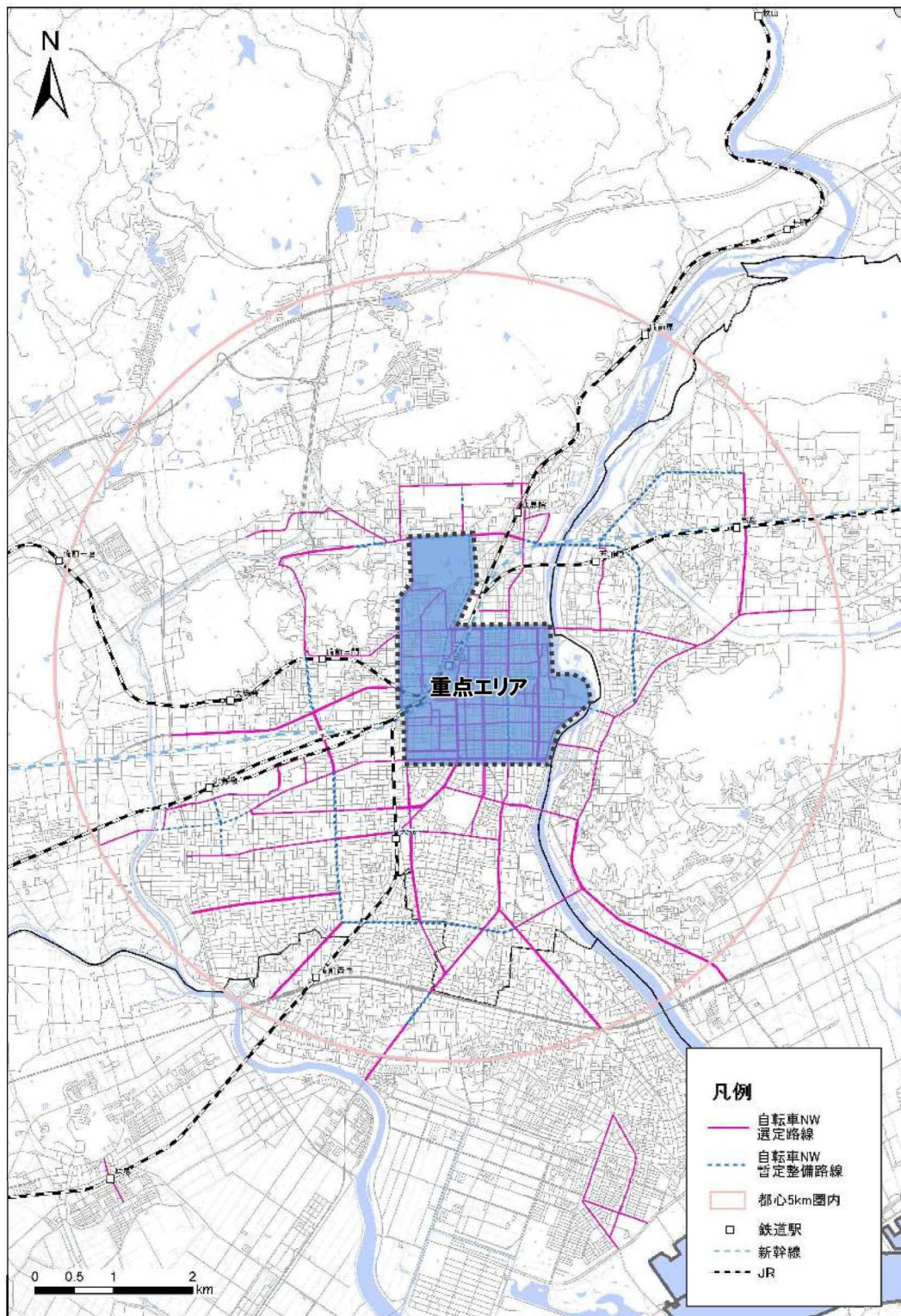
事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 岡山市総合交通計画、岡山市自転車活用推進計画	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標は適合している	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 計画の目標と定量的指標は整合している	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は明瞭である	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 全ての要素事業は目標を達成するためのものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果見込みは妥当である	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 事業執行の環境は整っている	○

凡例

- 計画路線（重点エリア）
- 計画路線（都心アクセス軸等）
- 整備済（自転車専用通行帯）
- 整備済（車道混在）
- 整備済（暫定）
- 重点エリア

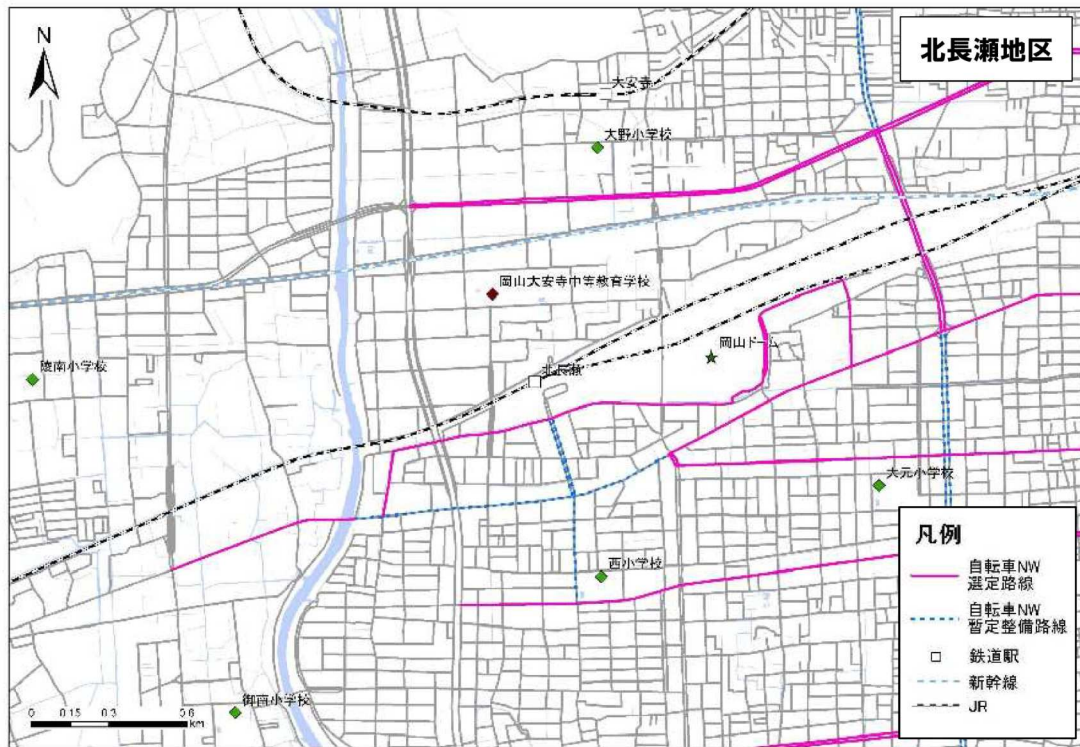
＜出典：国土地理院 地理院地図を加工して作成＞

A01-002 : (1) 学南町1号線ほか



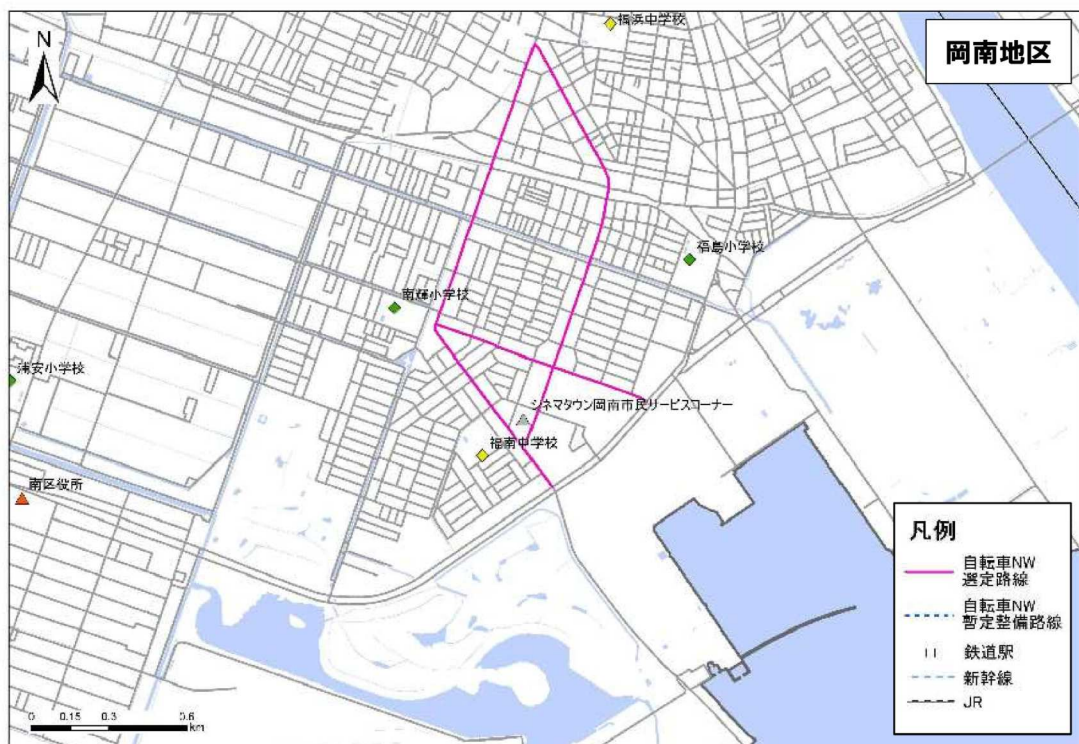
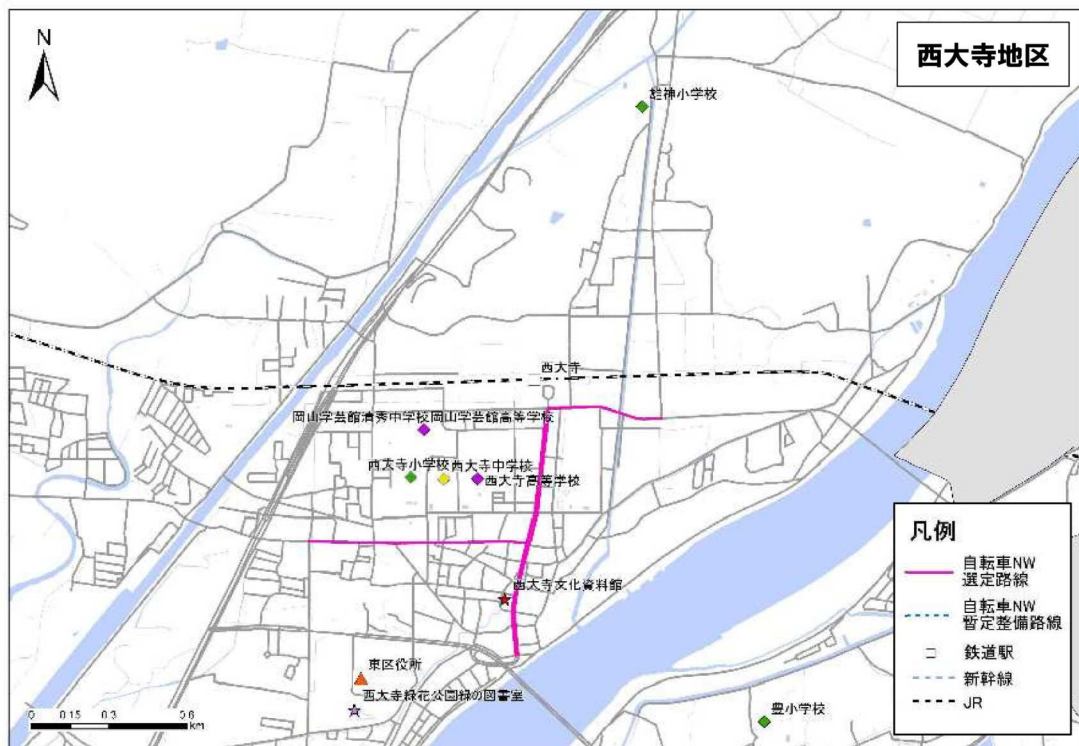
▲自転車通行空間ネットワーク（都心アクセス軸）※一部、スポット部路線含む

A01-003 : (2) 西川原国富線ほか



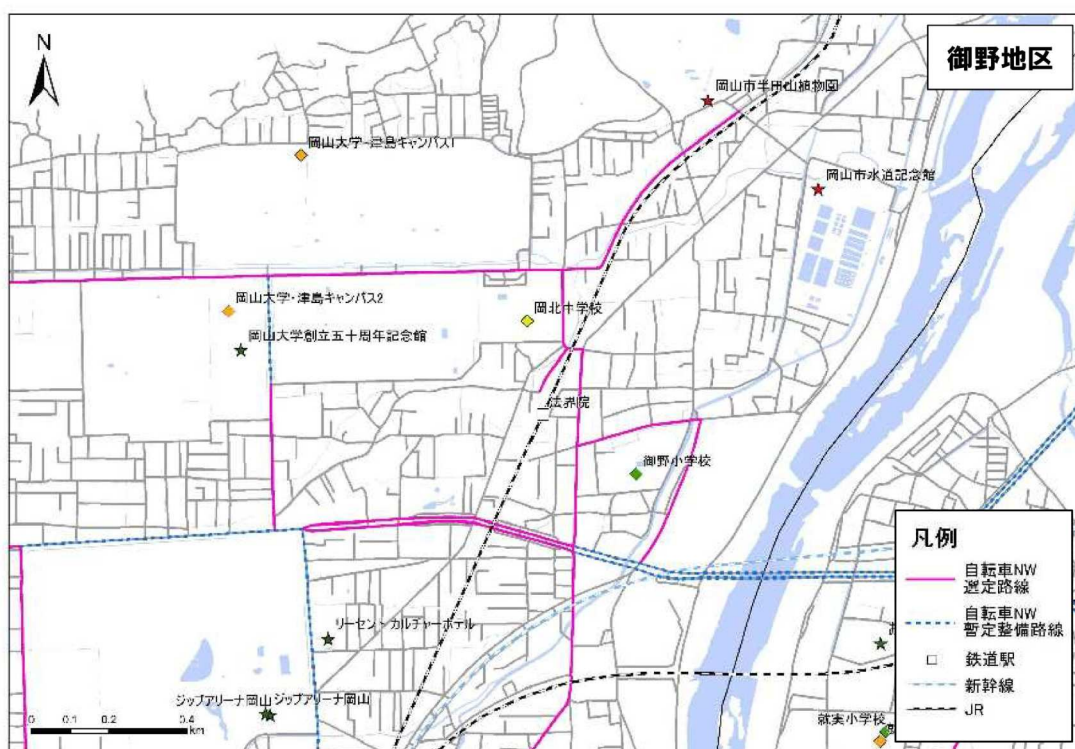
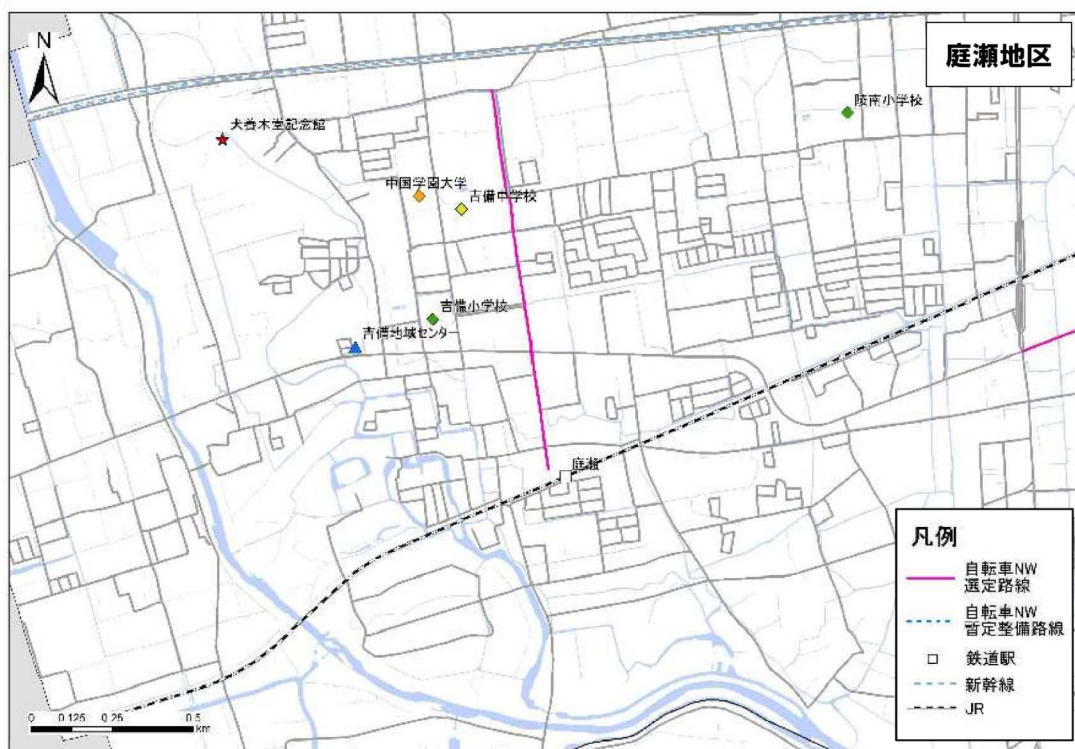
▲自転車通行空間ネットワーク（郊外スポット部）※一部、都心アクセス軸等含む

A01-003 : (2) 西川原国富線ほか



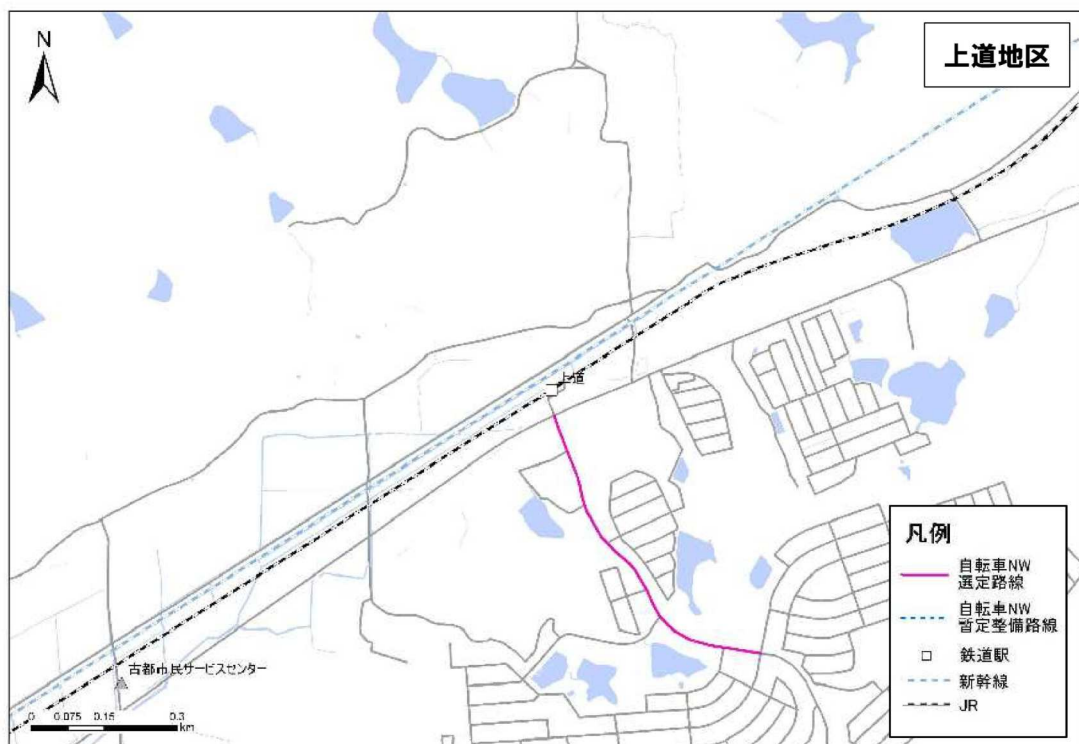
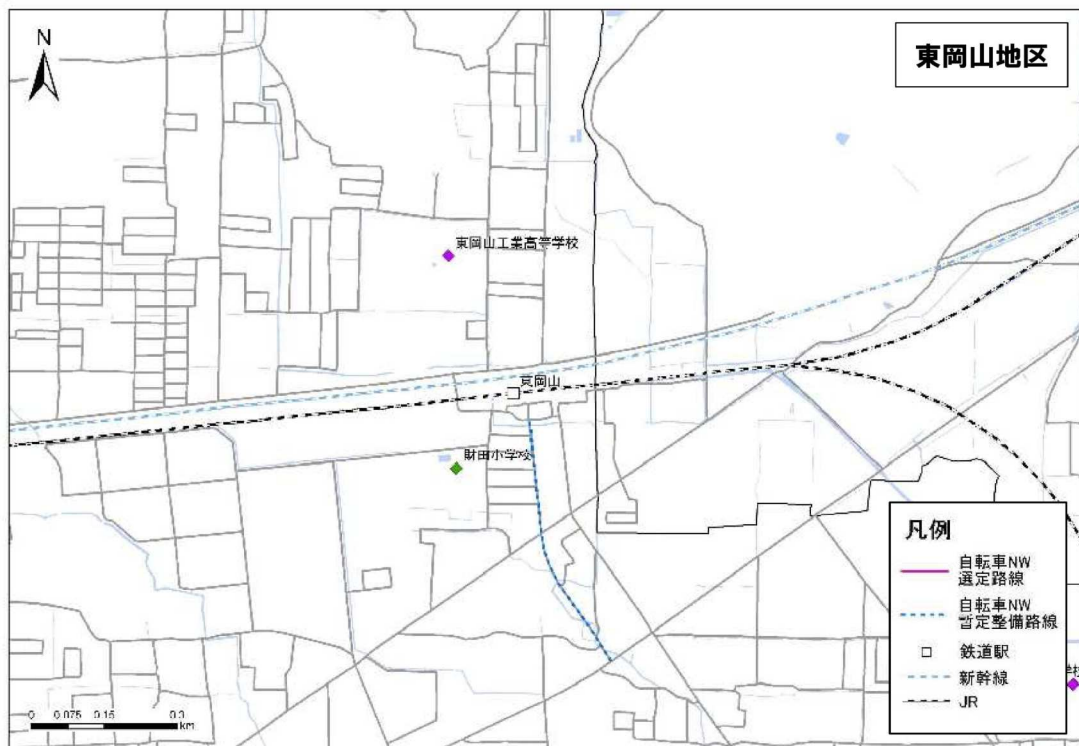
▲自転車通行空間ネットワーク（郊外スポット部）

A01-003 : (2) 西川原国富線ほか



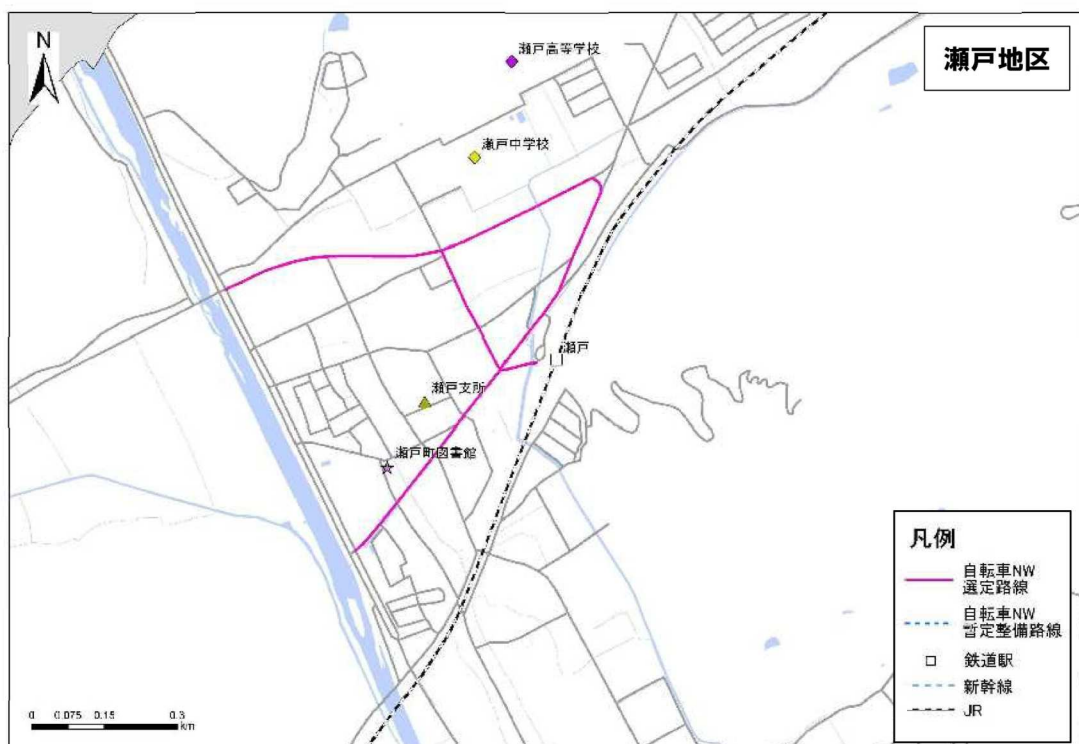
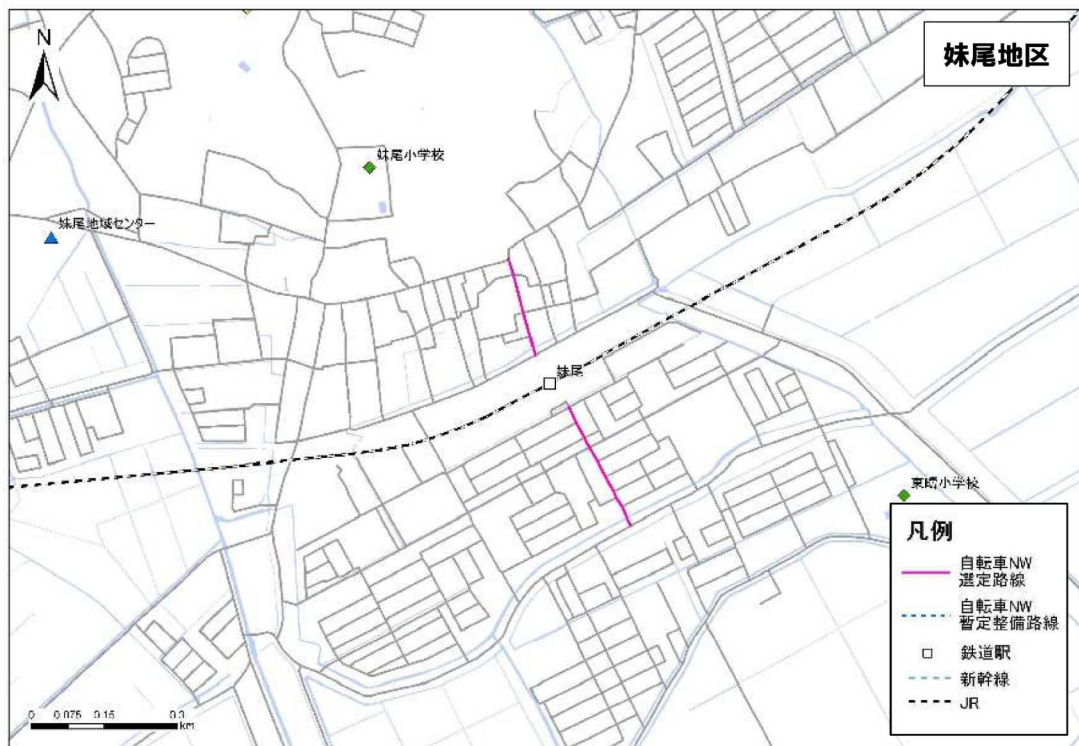
▲自転車通行空間ネットワーク（郊外スポット部）※一部、都心アクセス軸含む

A01-003 : (2) 西川原国富線ほか



▲自転車通行空間ネットワーク（郊外スポット部）

A01-003 : (2) 西川原国富線ほか



▲自転車通行空間ネットワーク（郊外スポット部）